



2025 年 11 月 14 日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾ミュージアム・コモンズ (KeMCo) 展覧会 KeMCo 新春展 2026 「馬の跳ねる空き地」展 開催 (1/8～2/7)

2026 年の干支は「午（うま）」。古来より、馬はその力強さ、美しさによって、移動・輸送から狩猟・農耕、娯楽まで、さまざまな場面で文明の発展を支えてきました。新年の幕開けを飾る本展覧会では、慶應義塾の多様なコレクションから、馬にまつわる稀覯本（きこうぼん）、絵巻物、浮世絵、埴輪など多様な作品を一堂に集め、馬と人との永い関係をたどり、改めてその魅力に迫ります。

また、特別企画として、慶應義塾ゆかりのさまざまな芸術家が手掛けた、慶應義塾幼稚舎内雑誌『仔馬』の表紙原画もあわせてご紹介いたします。

1. 基本情報

会期： 2026 年 1 月 8 日（木）— 2 月 7 日（土）（土・日・祝日休館）
特別開館：1 月 10 日（土）、24 日（土）、2 月 7 日（土）
臨時休館：1 月 26 日（月）
会場： 慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス 東別館）
開館時間： 11:00～18:00
入場： 無料、予約不要
詳細： <https://kemco.keio.ac.jp/all-post/20260108/>

2. 主な出品作品

- 『ポリグラフィア』、ヨハネス・トリテミウス著、1561 年、慶應義塾図書館
- 『ラテン語時禱書』、1480 年頃、西洋中世写本コレクション、慶應義塾図書館
- 二重橋楠公銅像、楊斎延一画、1899 年、ボン浮世絵コレクション、慶應義塾図書館
- 馬形埴輪、古墳時代後期、文学部民族学考古学専攻
- 「ギバサン（四季のための二十七晩）」舞台写真、小野塚誠撮影、アート・センター 土方巽アーカイヴ
- 『仔馬』、慶應義塾幼稚舎（撮影：村松桂(株式会社カロワークス)）
- 仔馬、岡本太郎、1965 年、慶應義塾幼稚舎
- 「『じゃじゃ馬馴らし』マーティン・ハーヴェイと N・デ・シルヴァ主演 プリンス・オブ・ウェールズ劇場」、小山内演劇絵葉書コレクション、慶應義塾図書館
- 熊野新宮神宝図、宇治田忠郷撰、寛政 6 年（1794）、慶應義塾（センチュリー赤尾コレクション）
- 群馬図、雲溪永怡筆、室町時代、常盤山文庫（慶應義塾寄託）
- アキレウスとヘクトール、ハンス・ゼーバルト・ベーハム作、1518-30 年頃、慶應義塾



1



2



3



4



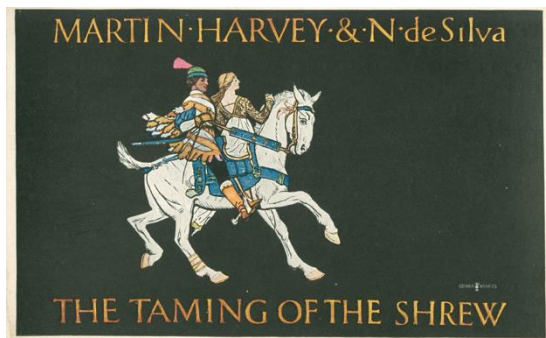
5



6



7



8



9



10



11

3. 関連プログラム

[ギャラリートーク]

- ・学芸員によるギャラリートークを行います。（入場無料、先着順、事前予約制）

日時：1月10日（土）14:00～14:40

定員：25名程度

※お申し込み開始時期、受付方法等はウェブサイトにてお知らせします。

4. 会場案内

会場：慶應義塾ミュージアム・コモンズ

住所：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学三田キャンパス 東別館

交通アクセス：田町駅（JR山手線／JR京浜東北線）徒歩8分

三田駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩7分

赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩8分



慶應義塾ミュージアム・コモンズ
（三田キャンパス東別館）外観

5. 主催・運営

主催：慶應義塾ミュージアム・commons

協力：慶應義塾大学アート・センター

慶應義塾大学日吉メディアセンター

慶應義塾大学文学部古文書室

慶應義塾大学文学部美学美術史学専攻

慶應義塾大学文学部民族学考古学専攻

慶應義塾大学附属研究所斯道文庫

慶應義塾大学三田メディアセンター

慶應義塾福澤研究センター

慶應義塾幼稚舎

(2025 年 11 月 14 日現在)

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社教育部、文化部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室（担当：寺西）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>